



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView ファームウェアおよびドライバー アップデートガイド（HPE Synergy 用）

摘要

このガイドでは、HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy イメージストリーマー管理アプライアンスのファームウェアの計画、準備、およびアップデートに役立つ手順を説明します。また、このガイドでは、HPE OneView による HPE Synergy ソリューション向けのファームウェアの保守とアップデートの手順も説明しています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

VMware ESXi™ は、VMware Inc. の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国/地域における登録商標です。

他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。



目次

HPE Synergy コンポーネントのファームウェアアップデートの概要

.....	5
管理アプライアンス.....	5
HPE Synergy コンポーザー.....	5
HPE Synergy イメージストリーマー.....	5
管理対象ハードウェア.....	6
共有インフラストラクチャ.....	6
コンピュータモジュール.....	6
HPE Synergy ソフトウェアリリース.....	6
ストレージ互換性.....	7
ファームウェアのインストールまたはアップデートを準備する.....	8
非中断のファームウェアアップデートのプランニング.....	8
HPE Synergy コンポーザーの非中断のファームウェアアップデート.....	9
HPE Synergy イメージストリーマーの非中断のファームウェアアップデート.....	9
共有インフラストラクチャの非中断のファームウェアアップデート.....	9
コンピュータモジュールの非中断のファームウェアアップデート.....	11
コンポーザー（第 1 世代）アプライアンスの移行.....	12
ファームウェアとドライバーの取得.....	12
ファームウェアとソフトウェアのファイルの入手.....	13
ファームウェアレポジトリへのファームウェアバンドルの追加またはインポート.....	14
ファームウェアアップデートが必要なハードウェアの特定.....	14
Update Readiness Checker を使用したアプライアンスの動作状況の評価.....	15
アプライアンスのバックアップ.....	16
イメージストリーマーのバックアップ.....	16
コンピュータモジュールのバックアップ.....	17
高可用性と冗長性の管理.....	17
HPE Synergy コンポーザーの高可用性構成.....	17
イメージストリーマーの高可用性構成.....	18
インターコネクトの高可用性構成.....	18
HPE Synergy フレームリンクモジュールの冗長構成.....	18
オンラインアップデートのための Smart Update Tools (SUT) の管理.....	19
ファームウェアのアップデート.....	20
アップグレードパス.....	20
推奨されるファームウェアアップデートの順序.....	20
HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデート.....	21
クラスター化されたコンポーザーアプライアンスのアップデートに関する留意事項.....	22
イメージストリーマーアプライアンスのアップデート.....	24
クラスター化されたイメージストリーマーアプライアンスのアップデートに関する留意事項.....	25
シングルフレーム構成のイメージストリーマーのアップデート.....	26
管理対象ハードウェアのファームウェアのアップデート.....	28
共有インフラストラクチャのアップデート.....	28
コンピュータモジュールのアップデート.....	29

HPE Synergy のドキュメントリソース	31
HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース.....	32
HPE Synergy ドキュメントの概要（ドキュメントマップ）	35
Web サイト	37
HPE OneView Remote Technician	38
サポートと他のリソース	39
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	39
アップデートへのアクセス.....	39
リモートサポート（HPE 通報サービス）	40
保証情報.....	40
規定に関する情報.....	40
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	41



HPE Synergy コンポーネントのファームウェアアップデートの概要

HPE Synergy ソリューションのファームウェアを最新の状態に維持すると、問題が修正され、パフォーマンスが向上し、アプライアンスに新しい機能が追加されます。このガイドでは、次のファームウェアをアップデートする手順について説明します。

- ・ **管理アプライアンス**
 - HPE Synergy コンポーザー
 - HPE Synergy イメージストリーマー
- ・ **管理対象ハードウェア**
 - 共有インフラストラクチャ（フレームリンクモジュール、インターコネクトモジュール、ドライブエンクロージャー）
 - コンピュートモジュール

管理アプライアンス

HPE Synergy コンポーザー

HPE Synergy コンポーザーは HPE OneView (HPE Synergy 用) をホストする管理アプライアンスで、シングルフレームまたはリンクされた複数のフレームをセットアップ、管理、および監視できます。HPE Synergy コンポーザーは、HPE Synergy 用ハードウェアの信頼性が高く簡素化されたファームウェアとドライバの管理を提供します。

HPE Synergy コンポーザーは HPE OneView を搭載しており、コンポーザーアプライアンスのアップデートファイルには、コンポーザーと HPE OneView 両方のアップデートが含まれています。

注記: HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）と HPE Synergy コンポーザー 2 の両方に言及するために、一般的な用語「HPE Synergy コンポーザー」および「コンポーザー」が使用されます。

HPE Synergy イメージストリーマー

HPE Synergy イメージストリーマーは、リモートブートをホストし、OS とそこに格納されているアプリケーションを実行する管理アプライアンスです。イメージストリーマーは、HPE OneView によって管理され、HPE Synergy コンポーザーでホストされているサーバープロファイルと統合します。これは、これらのブートまたは実行ボリュームに展開されたイメージを展開、構成、アップデート、および管理します。

注記: シングルフレーム構成のイメージストリーマーアプライアンスは、アップデートできません。アプライアンスを必要なリリースに再イメージしてください。

管理対象ハードウェア

共有インフラストラクチャ

共有インフラストラクチャはフレーム内のすべてのコンピュートモジュールに共通で、以下の内容が含まれます。

- ・ フレームリンクモジュール
- ・ インターコネクトモジュール
- ・ ドライブエンクロージャー

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「エンクロージャーまたは Synergy フレーム」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「インターコネクト」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「ドライブエンクロージャー」。

コンピュートモジュール

コンピュートモジュールとは、仮想ワークロードまたは物理ワークロードを展開する機能を持つサーバーのことです。コンピュートモジュールは、あらゆる種類のプロセッサおよびストレージのオプションと、簡素化された I/O アーキテクチャーを提供することによって、仮想マシンの密度を高めます。

HPE Synergy ソフトウェアリリース

HPE Synergy では、ファームウェアとドライバーのアップデートを HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイト経由でリリースします。HPE Synergy ソフトウェアリリースは、HPE Synergy Management の組み合わせと HPE Synergy カスタム SPP (Service Pack for ProLiant) で構成されています。HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトには、サポートされている各 HPE Synergy Management の組み合わせと、その管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるすべての HPE Synergy カスタム SPP がリストされています。HPE Synergy ファームウェアおよびソフトウェアのアップデートを計画する場合、HPE Synergy Management の組み合わせと HPE Synergy カスタム SPP の互換性が常に確保されるようにアップデートを行う必要があります。

HPE Synergy Management の組み合わせ

HPE Synergy Management の組み合わせは、ソフトウェアとファームウェアの組み合わせを実行する HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy イメージストリーマーアプライアンスのペアのバージョンです。HPE Synergy イメージストリーマーの使用はオプションです。

HPE Synergy カスタム SPP

HPE Synergy カスタム SPP は、ファームウェアコンポーネントとシステムソフトウェアコンポーネントの包括的なコレクションです。HPE Synergy コンポーザーに組み込まれているファームウェア管理機能を使用して、ファームウェアのベースラインを定義し、共有インフラストラクチャとネットワークングコ

ンポーネント、および個々のコンピュータモジュール全体でファームウェアのアップデートを実行できます。

各 HPE Synergy カスタム SPP には、共有インフラストラクチャファームウェア、コンピュータモジュールファームウェア、OS ドライバー、および Smart Update Manager (SUM) が含まれています。

ホットフィックス

ホットフィックスは、HPE Synergy カスタム SPP がリリースされた後にリリースされる個々のファームウェアコンポーネントです。ホットフィックスは、HPE Synergy コンポーザーにアップロードでき、既存の HPE Synergy カスタム SPP に追加して最新の HPE Synergy カスタム SPP を作成できます。

HPE Synergy ソフトウェアリリースの内容

HPE Synergy ソフトウェアリリースには、以下が含まれます。

- ・ HPE Synergy コンポーザーファームウェアファイル — アップデートファイル、再イメージファイル、またはその両方を含みます。
- ・ HPE Synergy イメージストリーマーファームウェアファイル — アップデートファイル、再イメージファイル、またはその両方を含みます。
- ・ HPE Synergy カスタム SPP ファイル。

サポートポリシー

Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-support-policy>) でサポートポリシーをお読みください。

ストレージ互換性

ストレージシステムとのファームウェアの互換性を確認します。互換性のある HPE Synergy ソフトウェアリリースを選択するか、ストレージシステムをアップグレードします。サポートされている HPE ストレージ製品構成の詳細については、Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Web サイト (<https://www.hpe.com/storage/spock>) を参照してください。



ファームウェアのインストールまたはアップデートを準備する

各 HPE Synergy Management の組み合わせは 1 つ以上の HPE Synergy カスタム SPP で動作できます。HPE Synergy カスタム SPP には、HPE Synergy インフラストラクチャとコンピュータモジュール用のファームウェアが含まれています。このようなファームウェアのセットは、特に HPE Synergy Management の組み合わせのアップデート時に、管理対象ハードウェアで実行中のファームウェアとアプライアンスで実行中の HPE Synergy Management の組み合わせ間で互換性があるように維持される必要があります。

一般的な HPE Synergy のアップデートでは、最初に管理アプライアンスをアップデートしてから、オプションで管理対象ハードウェアをアップデートします。HPE Synergy のアップデートを計画する場合、管理アプライアンスと管理対象ハードウェアのバージョンを確認してください。管理アプライアンスをアップデートするとき、インフラストラクチャおよびコンピュータモジュールで実行中のファームウェアが、新しい HPE Synergy ソフトウェアリリースと互換性があることを確認してください。例えば、インフラストラクチャファームウェアが、古いバージョンのファームウェアを実行中の場合、アプライアンスをアップグレードするとファームウェアの互換性がなくなる可能性があります。

インフラストラクチャファームウェアが対象 HPE Synergy ソフトウェアリリースでサポートされていない場合は、まずインフラストラクチャファームウェアを、既存および対象の両方のアプライアンスファームウェアバージョンと互換性があるバージョンにアップデートします。互換性のないファームウェアバージョンの HPE Synergy 環境を実行しようとししないでください。

同様に、既存および対象の両方の管理アプライアンスファームウェアを含むサポート済み HPE Synergy ソフトウェアリリースを維持するために、コンピュータモジュールのファームウェアをアップデートします。また、VMware ESXi ホストについては、HPE Synergy ファームウェアおよびドライバーをアップデートして、HPE Synergy ソフトウェアリリースに準拠するようにします。

どの HPE Synergy カスタム SPP がどの HPE Synergy Management の組み合わせと互換性があるかどうかの詳細については、次の HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトを確認してください。

<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>。

Hewlett Packard Enterprise では、本番環境に展開する前に、非本番環境でファームウェアとドライバーのアップデートを確認することを推奨します。

リリースノート

アップデートする前に、アップデート中の各デバイスに固有のリリースノートをお読みください。また、HPE OneView リリースノート（HPE Synergy 用）もお読みください。

これらのリリースノートは、HPE Synergy の「[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)」の「リリースノート」セクションで確認できます。

詳細情報

- ・ [HPE Synergy ソフトウェアリリース](#)
- ・ [ファームウェアとドライバーの取得](#)

非中断のファームウェアアップデートのプランニング

- ・ [HPE Synergy コンポーザー](#)
- ・ [HPE Synergy イメージストリーマー](#)

- ・ 共有インフラストラクチャ
- ・ コンピュータモジュール

HPE Synergy コンポーザーの非中断のファームウェアアップデート

HPE Synergy コンポーザーのアップデート中、コンポーザーが再起動します。再起動は管理対象のシステムの操作に影響しません。

クラスター化されたアプライアンスの場合、アップデートは次の順序で行われます。

HPE Synergy コンポーザー 5.2 以前のリリースからのアップデート

最初にアクティブコンポーザーがアップデートされ、次にスタンバイコンポーザーがアップデートされます。アクティブコンポーザーのアップデート中は、HPE OneView の管理機能を使用できません。

アクティブコンポーザーがアップデートされた後、スタンバイコンポーザーがアップデートされます。スタンバイコンポーザーのアップデート中は、新しくアップデートしたアクティブコンポーザーを使用して HPE Synergy 環境を管理できます。

HPE Synergy コンポーザー 5.3 以降のリリースからのアップデート

最初にスタンバイコンポーザーがアップデートされます。スタンバイコンポーザーのアップデート中は、アクティブコンポーザーを使用して HPE Synergy 環境を管理できます。

スタンバイコンポーザーがアップデートされた後、フェイルオーバープロセスが自動的に開始されます。フェイルオーバープロセスの後、アップデートされたスタンバイコンポーザーが自動的に新しいアクティブコンポーザーになり、新しいスタンバイコンポーザーのアップデートが開始されます。

最初にスタンバイコンポーザーをアップデートすることで、ダウンタイムを減らし、アップデートの信頼性を高めます。スタンバイコンポーザーのアップデートが失敗した場合は、以前の HPE OneView バージョンが自動的にリストアされます。

HPE Synergy イメージストリーマーの非中断のファームウェアアップデート

HPE Synergy イメージストリーマーのペアでは、アプライアンスペアのアップデート中に、OS ボリュームストレージとコンピュータモジュールとの継続的な接続が維持されます。OS ボリューム展開およびその他のイメージ管理作業は一時的にオフラインにされます。これらの作業は、アプライアンスペアのアップデートが完了すると、再開します。

イメージストリーマーのペアが複数存在する場合は、最初にプライマリペアをアップデートします。プライマリペアのアップデートが完了したら、セカンダリペアをアップデートします。複数のセカンダリペアを並行してアップデートできます。

共有インフラストラクチャの非中断のファームウェアアップデート

共有インフラストラクチャへのアップデートは、論理エンクロージャーのファームウェアアップデートの一部として実行されます。インターコネクトモジュールが、アップデートプロセスの一部として再起動すると、そのインターコネクトを介したネットワークまたはストレージトラフィックは中断されます。この動作により、実行中のワークロードが中断されます。

ファームウェアアップデートの計画を立てて、実行中のワークロードがアップデートによって中断されないようにしてください。共有インフラストラクチャのアップデート中のネットワークトラフィックの中断を防ぐには、インフラストラクチャを経由する冗長パスを使用して、すべてのサーバー、ネットワーク、およびオペレーティングシステムを構成します。このようにして、新しいファームウェアをアクティブ化するためにインターコネクトの1つをオフラインにしても、もう一方のインターコネクトモジュールはネットワークトラフィックの転送を続行し、ワークロードが接続性を失うことはありません。

共有インフラストラクチャのファームウェアをアップデートするために、パラレルまたは統合アクティブ化方式を使用できます。中断を伴わないアップデートには、統合方式を使用してください。

パラレル

パラレルアップデートでは、すべてのインターコネクต์モジュールが一度にアップデートされます。すべてのインターコネクต์モジュールが一度にアップデートされるので、インターコネクต์が再起動すると、ワークロードへのトラフィックが中断されます。パラレルアップデートは、共有インフラストラクチャをアップデートするための最速の方法です。

統合

統合アップデートでは、1組のうち一度にアップデートされるのは、片方のインターコネクต์モジュールだけです。最初のモジュールのアップデートが完了した後に、2番目のモジュールのアップデートが開始されます。このアップデートは、パラレルアップデートと比較すると、完了するまでにさらに時間がかかります。論理エンクロージャー内のコンポーネントが、冗長性を確保するために適切に構成されている場合、ネットワークトラフィックとワークロードは中断されません。統合アップデートでは、イーサーネットアップリンクのアクティブ/アクティブ MLAG 冗長性と、ダウンリンクの冗長接続が確認されます。

アップデートを適用する前に、ファームウェアアップデートが破壊的かどうかを確認してください。論理エンクロージャーには、複数の論理インターコネクต์を含めることができます。論理インターコネクต์画面からファームウェアをアップデートするときを使用できるプレビューオプションを使用して、各論理インターコネクットのファームウェアアップデートを確認します。

アップデートが破壊的な場合は、画面の解決策に従って、システムが統合アップデートを実行できるようにします。次に、論理エンクロージャー画面からの共有インフラストラクチャのファームウェアのアップデートに進みます。

注記: HPE Synergy 10Gb パススルーモジュールでは、プレビューオプションは使用できません。

手動統合

手動統合アップデートでは、選択した側のインターコネクต์がアップデートされます。もう一方の側のインターコネクต์は、ネットワークトラフィックの通信に使用できます。この方法では、インターコネクットの一方の側をアップデートしてから、もう一方の側もアップデートするかどうかを決定できます。アップデートしたインターコネクットのファームウェアアップデートが不十分な場合は、元のファームウェアバージョンを復元することができます。

手動統合のファームウェアアップデートは論理インターコネクットレベルでのみ可能であり、このオプションはほとんどのアップデートとダウングレードに適用できます。手動統合オプションを適用できない例外がいくつかあります。このような例外にこのオプションを試行すると、検証エラーが表示され、操作は続行されません。

注記: 両方のインターコネクットのファームウェアバージョンが同じであることを常に確認してください。インターコネクットのファームウェアバージョンが異なる場合、インターコネクットはメンテナンスモードのままになります。これらが同じバージョンになるまで構成を変更することはできません。

手動統合は、HPE Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュール、HPE Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール、および HPE Synergy 10Gb/20Gb/50Gb インターコネクットリンクモジュールで利用できます。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「統合アクティブ化とパラレルアクティブ化」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「エンクロージャーの論理インターコネクットのファームウェアのアップデート」。

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「論理インターコネクトのファームウェアのアップデート」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)における「論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート」。

コンピュータモジュールの非中断のファームウェアアップデート

HPE OneView を使用して、コンピュータモジュールのファームウェアバージョンについて、ファームウェアベースラインとインストール方法をあらかじめ設定できます。ファームウェアとドライバーアップデートがステージングされ、アプリケーションのメンテナンスウィンドウ内にアクティブ化されます。ファームウェアのステージングと展開タスクを実際のメンテナンスウィンドウ外で実行するこの機能により、サービスの中断、運用コスト、および計画的ダウンタイムが削減されます。

メンテナンスウィンドウとは、アップデートプロセス中にハードウェアにダウンタイムが発生している期間です。アップデートのためには、コンピュータモジュールで実行中の VM とワークロードを停止する必要があります。ファームウェアをアクティブ化するには、メンテナンスウィンドウ中にコンピュータモジュールをインストールして再起動する必要があります。ダウンタイムが発生する可能性がある時期を特定して、アップデートを計画します。

Hewlett Packard Enterprise では、Smart Update Tools (SUT) と HPE OneView を一緒に使用することをお勧めします。コンピュータモジュール上のファームウェアとオペレーティングシステムのドライバーをアップデートするうえで、中断が最小限になる方法が提供されます。ファームウェアアップデートはコンピュータモジュール上にいつでもステージングでき、メンテナンスウィンドウ内に `deploy reboot sut` コマンドを実行してアクティブ化することができます。または、オフラインモードでコンピュータモジュールをアップデートできます。

・ ハイパーバイザークラスターの完全な非中断ローリングアップデート

ESXi ワークロードを管理しており、中断のないアップデートが必要な場合は、ハイパーバイザークラスタープロファイルを使用して、HPE OneView で VMware ESXi クラスターを作成またはインポートします。

統合アクティブ化オプションを選択すると、HPE OneView によって管理されているハイパーバイザークラスターが中断することなくアップデートされます。統合アクティブ化オプションを選択すると、ワークロードを中断することなくハイパーバイザークラスターメンバーの構成を順番にアップデートできます。論理エンクロージャーに 1 つ以上のハイパーバイザープロファイルが含まれている場合、各ハイパーバイザーが順番に選択され、構成がアップデートされます。その結果、ハイパーバイザークラスタープロファイルに含まれているクラスターメンバーがアップデートされます。

・ 中断を最小化したファームウェアアップデート

サーバープロファイルからファームウェアアップデートを実行する場合は、**ファームウェアおよび OS ドライバー (Smart Update Tools を使用)** または **ファームウェアのみ (Smart Update Tools を使用)** のオプションを指定します。SUT を選択した場合、[表](#)を参照して SUT をインストールおよび構成します。

必要に応じて、論理エンクロージャーからファームウェアアップデートを実行する場合、コンピュータモジュールの中断を最小限に抑えるため、**共有インフラストラクチャとプロファイルオプション**と共に**統合オプション**を指定します。

・ オフラインアップデート

ファームウェアのみオプションを指定し、サーバープロファイルのファームウェア設定を使用してファームウェアをアップデートします。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「ハイパーバイザークラスターの構成を中断を伴わずにアップデートする」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「サーバープロファイルによるファームウェアのアップデート」。
- ・ [Integrated Smart Update Tools for Windows and Linux User Guide](#)
- ・ [Smart Update Tools for VMware ESXi User Guide](#)

コンポーザー（第 1 世代）アプライアンスの移行

リリース 5.0 以降、HPE OneView は HPE Synergy コンポーザー 2 をサポートしています。HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）アプライアンスから構成設定とデータを新しいコンポーザー 2 アプライアンスに転送することを移行と呼びます。このプロセスでは、HPE OneView のバックアップとリストア機能をいくつかの追加手順と共に使用します。アプライアンスを移行する方法については、[HPE Synergy 移行ガイド](#)を参照してください。

- ❗ **重要:** 移行するには、HPE OneView のバージョンが HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）およびコンポーザー 2 と同じ（5.0 以降）でなければなりません。

詳細情報

- ・ 「コンポーザー（第 1 世代）アプライアンスからコンポーザー 2 アプライアンスへの移行について」（[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)）。
- ・ 「設定：アプライアンス」および「アプライアンスの管理」（[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)）。

ファームウェアとドライバーの取得

次の HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトから、一緒に使用する HPE Synergy Management の組み合わせと HPE Synergy カスタム SPP をダウンロードします。<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>

各 HPE Synergy ソフトウェアリリースはリリースの日付で識別され、認定されたファームウェアとドライバーが含まれています。各リリースは、すべてのコンポーネントのバージョンが連携して動作することの確認のためにテストされています。Hewlett Packard Enterprise では、適切なソフトウェアリリースからの HPE Synergy カスタム SPP を使用することをお勧めします。

リリースを選択するのに役立つツール

次のツールを使用して、リリースでサポートされている新機能やハードウェアを把握した後、リリースを選択します。ツールは、次の Hewlett Packard Enterprise Web サイトにあります。<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>

- ・ **HPE Synergy Firmware Comparison Tool** — HPE Synergy Management の組み合わせのリストを確認し、選択した HPE Synergy Management の組み合わせでサポートされている HPE Synergy カスタム SPP を比較します。
- ・ **HPE Synergy Firmware Feature Comparison Table** — HPE Synergy Management の組み合わせおよび HPE Synergy カスタム SPP でサポートされる新機能を確認します。

- ・ **HPE Synergy Upgrade Paths** — HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy イメージストリーマー管理の組み合わせのアップグレードパスを特定します。
- ・ **HPE Synergy 用 VMware OS サポートツール** — HPE Synergy カスタム SPP でサポートされている VMware vSphere OS リリースを特定します。
- ・ **カスタマーアドバイザー** — Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) で関連するアラートとアドバイザリを確認します。

リリースファイルのダウンロード

選択したリリースのアップグレードパスに基づいて適切なファイルダウンロードします。

詳細情報

HPE Synergy ソフトウェアリリース

ファームウェアとソフトウェアのファイルの入手

続行する前に、**HPE Synergy ソフトウェアリリース**の説明に従い、ダウンロードする HPE Synergy Management の組み合わせおよび HPE Synergy カスタム SPP のバージョンを確認します。

手順

1. HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトに移動します。 <https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>
2. ソフトウェアリリースの表で、ダウンロードする HPE Synergy Management の組み合わせまたは HPE Synergy カスタム SPP のバージョンに対応するリンクをクリックします。
これにより、HPE Synergy カスタム SPP のバージョンをクリックした場合でも、HPE Synergy Management の組み合わせの **ドライバーおよびソフトウェアダウンロードページ**に移動します。
3. **ソフトウェアの入手**をクリックします。
まだログインしていない場合は、ダウンロードページへのアクセス権を確認するためログインするように求められます。
4. ログイン後、**ソフトウェアの入手**を再度クリックします。
まだログインしていない場合は、ファイルをダウンロードするためのアクセス権を確認するためログインするように求められます。
アクセス権が確認されると、特定の管理ソフトウェアの組み合わせのすべてのファイルと、サポートされているすべての HPE Synergy カスタム SPP がリストされます。
5. ハードウェアに対応しているファイルを選択します。
ダウンロードするファイルを選択するときは、HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy コンポーザー 2 用にそれぞれファイルがリストされていることに注意してください。
6. 選択したチェックサムユーティリティと .md5 ファイルを使用して、ダウンロードしたファイルの整合性を確認します。

ファームウェアレポジトリへのファームウェアバンドルの追加 またはインポート

ファームウェアバンドルをファームウェアレポジトリに追加することにより、それらを環境全体に展開できます。レポジトリからファームウェアバンドルを選択すると、リリースの日付、サポートされる言語とオペレーティングシステム、およびファイルコンポーネントが表示されます。設定 > レポジトリパネルには、アプライアンスにファームウェアバンドルを追加するために使用できるストレージ容量も表示されます。レポジトリにファームウェアバンドルを追加する場合、十分な容量があることを確認してください。

2つのタイプのレポジトリがサポートされます。

- ・ **内部レポジトリ** — 内部レポジトリは、すべての HPE OneView アプライアンスでいつでも使用できる状態で出荷されています。ファームウェアバンドルは、HPE OneView アプライアンスに直接アップロードされます。

HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）の内部の内蔵ファームウェアレポジトリには、HPE OneView によって管理されるコンポーネントで使用するファームウェアファイルを格納しアップロードするための最大サイズが 12 GB という制限があります。

HPE Synergy コンポーザー 2 のファームウェアレポジトリには、ファームウェアファイルを格納しアップロードするための最大サイズが 62 GB という制限があります。

注記: 割り当てられた容量を追加または変更したり、内部レポジトリを削除したりすることはできません。

- ・ **外部レポジトリ** — 外部で管理され、ユーザーによって維持される追加の Web サーバーを、レポジトリとしてアプライアンスに追加できます。特定のディレクトリにファームウェアバンドルをアップロードし、サーバーを HPE OneView に登録できます。

外部レポジトリには、ユーザー構成が必要です。レポジトリは必要な任意のサイズまで拡張でき、複数の HPE OneView アプライアンス間で共有できます。

Web サーバーを HPE OneView に外部レポジトリとして追加すると、ファームウェアバンドルを Web サーバーにアップロードできるようになり、ファイルは自動的に検出されます。

Hewlett Packard Enterprise では、使用されなくなったファームウェアバンドルを削除することをお勧めします。

注記: HPE OneView アプライアンスで作成されたカスタムファームウェアバンドルは、別の HPE OneView アプライアンスに移動できません。

詳細情報

- ・ **[HPE OneView ユーザーガイド \(HPE Synergy 用\)](#)** に記載された、「Microsoft Windows 上で Web ベースの外部ファームウェアレポジトリをインストールおよび構成する」および「Linux で Web ベースの外部ファームウェアレポジトリをインストールおよび構成する」。
- ・ 「設定：レポジトリ」セクション (**[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)**) を参照してください。

ファームウェアアップデートが必要なハードウェアの特定

ファームウェアアップデートが必要なハードウェアは、手動で、またはファームウェアコンプライアンスツールを使用して特定できます。

手動

次のオプションを使用して、ファームウェアアップデートが必要なサーバーを手動で識別します。

- ・ **ファームウェア比較ツール**

次の HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトの HPE Synergy Firmware Comparison Tool を使用して、インストールされているファームウェアバージョンと新しいファームウェアバンドルバージョンを比較します。<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>

- ・ **サーバーファームウェアインベントリレポート**

レポートを生成します。レポートの各サーバーのファームウェアバージョンと新しいファームウェアバンドルドキュメントのファームウェアバージョンを比較します。

- ・ **論理エンクロージャー画面と論理インターコネクト画面**

これらの画面を使用して、サーバーにインストールされているファームウェアバージョンと新しいファームウェアバンドルのファームウェアバージョンを比較することもできます。

ファームウェアコンプライアンス

リリース 5.0 以降、アプライアンスのアップグレード後にファームウェアコンプライアンスを利用できます。HPE OneView には、すべてのファームウェアバンドル、ハードウェア、およびファームウェアコンポーネントに関する保留中のファームウェアのアップデートおよびそれらのファームウェアコンプライアンスレポートが一覧表示されます。この情報は、保留中のファームウェアのアップデートを計画するのに役立ちます。

注記: コンプライアンスレポートは、共有インフラストラクチャと Gen10 以降の HPE Synergy コンピュータモジュールで利用できます。

ファームウェアコンプライアンスレポートには次のビューがあります。

- ・ **詳細**

詳細ビューには、フィルターが適用されていない場合の合計リソース数と比較したときの、フィルター適用後のリソース数を示す一致カウンターがあります。

- ・ **概要**

概要ビューは、コンプライアンスの不一致の総数と最新および保留中のすべてのファームウェアのアップデートのステータスを表示する棒グラフです。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「ファームウェアコンプライアンス」。

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「レポートの表示と保存」。

Update Readiness Checker を使用したアプライアンスの動作状況の評価

HPE Synergy コンポーザーアプライアンスをアップデートする前に、必ず HPE OneView Update Readiness Checker を使用してアプライアンスの動作状況を評価してください。このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。Readiness Checker は頻繁にアップデートされるため、常に最新バージョンをダウンロードしてください。

詳細については、[HPE OneView ユーザーガイド \(HPE Synergy 用\)](#)と、ダウンロードに含まれる README ファイルを参照してください。

アプライアンスのバックアップ

注記: HPE OneView をアップデートする前に、必ずアプライアンスをバックアップしてください。

内部レポジトリに保存されている HPE Synergy カスタム SPP は、アプライアンスバックアップの一部としてはバックアップされません。HPE OneView 内部レポジトリにアップロードする場合は、必ず HPE Synergy カスタム SPP のコピーを安全な場所に保存してください。バックアップからアプライアンスをリストアする必要がある場合は、これらの保存した HPE Synergy カスタム SPP をレポジトリに再度アップロードする必要があります。

HPE OneView ではファームウェアレポジトリがバックアップされないため、バックアップ SFTP サーバーまたは HTTPS サーバーなどのアプライアンス上に存在しないレポジトリに HPE Synergy カスタム SPP を保存してください。HPE OneView のリストア後、バックアップされた HPE Synergy カスタム SPP を取得して、HPE OneView にアップロードします。

手順

1. 手動バックアップの場合は、次の手順を実行します。
 - a. **設定 > バックアップ > アクション > バックアップの作成**の順に選択します。
 - b. **設定 > バックアップ > アクション > バックアップのダウンロード**の順に選択します。
2. リモートバックアップの場合は、次の手順を実行します。
 - a. **設定 > バックアップ > リモートバックアップの場所**の順に選択します。
 - b. **リモートバックアップの場所からバックアップ設定の編集オプション**を選択します。
 - c. **リモートバックアップの場所の有効化**を選択し、必要な情報を入力します。**OK** をクリックします。
 - d. リモートバックアップの場所にバックアップが保存されていることを確認します。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスの手動バックアップ」および「自動リモートバックアップの構成」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスをリストアする」および「アプライアンスをリストアするためのベストプラクティス」。

イメージストリーマーのバックアップ

IP アドレスやアプライアンスの詳細などの HPE Synergy イメージストリーマーの構成情報は、HPE OneView にあります。このため、HPE OneView を使用してバックアップを作成すると、イメージストリーマーの構成情報もバックアップされます。

イメージストリーマーをアップデートし、イメージストリーマーのアーティファクトをバックアップする場合は、イメージストリーマーユーザーインターフェイスを使用してバックアップバンドルを作成してダウンロードします。

OS ボリュームをバックアップする場合は、キャプチャータイプの OS ビルドプランを使用するゴールデンイメージを作成します。

詳細情報

- ・ [HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ](#)にある「バックアップバンドルの作成」および「バックアップバンドルのダウンロード」。
- ・ [HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)にある「バックアップ、リストア、およびリカバリ」。

コンピュータモジュールのバックアップ

オプションで、ファームウェアとドライバーのアップデートを実行する前に、必要に応じてコンピュータモジュールのワークロードを特定してバックアップします。

高可用性と冗長性の管理

- ・ [HPE Synergy コンポーザーの高可用性構成](#)
- ・ [イメージストリーマーの高可用性構成](#)
- ・ [インターコネクトの高可用性構成](#)
- ・ [HPE Synergy フレームリンクモジュールの冗長構成](#)

HPE Synergy コンポーザーの高可用性構成

高可用性と冗長性の管理の目的で、同じ HPE Synergy 管理ドメイン内に 2 つの HPE Synergy コンポーザーを取り付ける必要があります。アプライアンスの設定を確認するとともに、両方のアプライアンスが正常で、同期されていることを確認します。

高可用性を管理するための推奨事項は次のとおりです。

- ・ コンポーザーが含まれるフレームごとに、コンポーザーと同じフレームおよびベイに含まれる HPE Synergy フレームリンクモジュール上の MGMT ポートを管理ネットワークに接続することを推奨します。適切なケーブル配線により、コンポーザー間の通信リンクの高い冗長性が確保されます。
- ・ HPE Synergy コンポーザーを別々のフレームに取り付けておくことで、1 つのフレームに障害が発生した場合、別のフレームの HPE Synergy 管理アプライアンスがアクティブアプライアンスとして機能できるようにします。

注記: 単一のフレームリンクモジュールで動作中にフレームリンクモジュールのファームウェアアップデートを実行する必要がある場合は、ファームウェアをアップデートする前に HPE OneView で **スタンバイを削除**アクションを実行します。フレームリンクモジュールのファームウェアアップデートが完了したら、コンポーザーの電源をオンにして、スタンバイコンポーザーをクラスターに戻します。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「HPE Synergy フレームリンクモジュールについて」。
- ・ [HPE Synergy ケーブル接続ガイド](#)
- ・ [HPE Synergy 構成および互換性ガイド](#)にある「HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy コンポーザー 2」および「イメージストリーマー構成」。

イメージストリーマーの高可用性構成

高可用性構成の論理エンクロージャーには、相互接続された 2 つの HPE Synergy イメージストリーマーアプライアンスが必要です。

ストレージの観点 (アクティブな OS ボリュームと抽出されたゴールデンイメージのストレージ)

各イメージストリーマーアプライアンスのペアは、「アクティブ/アクティブ」構成になります。すなわち、OS ボリュームのストレージをサポートするコンポーネントはすべてのイメージストリーマーアプライアンスのペアで常にアクティブになり、コンピュートモジュールとその OS ボリュームの間の継続的な接続を実現します。アップデート中、OS ボリュームへの接続を提供するアクティブアプライアンスがあります。

管理の観点

ペアのうちの 1 つのアプライアンスが「アクティブ」で、もう 1 つが「スタンバイ」になります。「アクティブ」アプライアンスのアップデート中、「スタンバイ」アプライアンスが制御を引き受けることでデータの消失 (管理データと監査ログ) を防ぎます。

複数の論理エンクロージャー内でイメージストリーマーアプライアンスが使用される構成では、多くのアプライアンスのペアが形成されます。1 つのアプライアンスペアをプライマリアプライアンスペアとして指定し、他のアプライアンスペアをセカンダリアプライアンスペアとして指定します。

プライマリアプライアンスペアに障害が発生した場合、セカンダリアプライアンスペアを新しいプライマリアプライアンスペアとして指定できます。HPE OneView はこの情報をアップデートし、新たに指定されたプライマリアプライアンスペア上のイメージストリーマーユーザーインターフェイスへのリンクを提供します。

詳細情報

[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「イメージストリーマー OS 展開サーバーの展開アプライアンスの変更」。

インターコネクタの高可用性構成

インターコネクタモジュールは、コンピュートモジュールからデータファブリックへの接続性を提供します。冗長性は、ファームウェアアップデート中に接続を維持するとともに、障害が発生した場合に接続を失うことを防止するために使用されます。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「論理インターコネクタグループの冗長性モード」および「複数の論理インターコネクタグループを持つエンクロージャーグループの有効な構成」。
- ・ [HPE Synergy ケーブル接続ガイド](#)

HPE Synergy フレームリンクモジュールの冗長構成

HPE Synergy フレームリンクモジュールは、HPE Synergy 12000 フレームを検出し、管理するために HPE OneView によって使用されます。単一の HPE Synergy フレームまたはエンクロージャーには、1 つまたは 2 つのフレームリンクモジュールが含まれます。冗長化のため、または複数の HPE Synergy フレームと一緒にリンクするために、各フレームには 2 つのフレームリンクモジュールが必要です。これらのフレームリンクモジュールは自動的にネゴシエートされ、1 つのフレームリンクモジュールがアクティブ状態になり、もう 1 つがスタンバイ状態になります。HPE Synergy フレームの管理は、フェイルオーバーおよびファームウェアアップデート時に自動的に維持されます。

HPE Synergy フレームリンクモジュールは、フレームの背面パネルにあります。リモートリングを使用する場合、リモートリングが正常に動作しており、ファームウェアアップデートが実行されるように適切に

ケーブル接続されている必要があります。HPE OneView フレームリンクインターコネクトトポロジは正常に動作している必要があります。

詳細情報

HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド

オンラインアップデートのための Smart Update Tools (SUT) の管理

Smart Update Tools (SUT) は、サーバーハードウェア上のファームウェアおよびオペレーティングシステムドライバーのアップデートで、中断を最小限にできるオンラインメカニズムを提供します。

オペレーティングシステムユーティリティである SUT を使用すると、サーバーの電源がオンの状態でファームウェアと OS ドライバーの両方をオンラインでアップデートできます。HPE OneView でオペレーティングシステムの認証情報を保持する必要はありません。ファームウェアとドライバーを一緒にアップデートすることにより、通常のメンテナンスウィンドウ内で管理できる 1 回の再起動でアップデートを実行できるため、予定されたメンテナンスウィンドウ内のダウンタイムが減ります。

SUT モードを以下の表に示されているように設定します。

表 1: 推奨される SUT モード

サーバー	ホスト (ハイパーバイザー OS)	推奨される SUT モード	SUT タイプ
Gen9	Windows & Linux	AutoStage	Windows および Linux 用の iSUT
Gen9	ESXi	AutoDeploy	ESXi 用の SUT
Gen10 以降	Windows、Linux、および ESXi	AutoStage¹	Windows、Linux、および ESXi 用の iSUT

¹ ハイパーバイザークラスタープロファイルのローリングアップデートを使用する場合、**AutoStage** はサポートされません。推奨される SUT モードは **AutoDeploy** です。

これらの SUT モードは、サーバーハードウェアの電源を切らずにサーバープロファイルを適用できるようにすることで、中断を伴わずにファームウェアをステージングするのに役立ちます。ファームウェアのアップデート後、メンテナンスウィンドウ中に、インストールのための SUT コマンドを実行し、SUT コマンドラインインターフェイスから再起動します。

注記: **AutoStage** モードは Gen9 ESXi ではサポートされません。ファームウェアのステージングは、コンピュータモジュールのセットに対して 1 回だけ実行されるため、メンテナンスウィンドウ中にサーバープロファイルを適用することをお勧めします。

詳細情報

- ・ [HPE OneView サポートマトリックス \(HPE Synergy 用\)](#)
- ・ [Integrated Smart Update Tools for Windows and Linux User Guide](#)
- ・ [Smart Update Tools for VMware ESXi User Guide](#)

ファームウェアのアップデート

アップグレードパス

HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについては、次の HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトの HPE Synergy アップグレードパスの表を参照してください。 <https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>

推奨されるファームウェアアップデートの順序

Hewlett Packard Enterprise では、コンポーネントのアップデートは、以下の順番に行うことをお勧めします。

1. アップデートに必要な**前提条件**を満たしていることを確認します。アップデートを正常に完了するには前提条件を満たしている必要があります。
2. **HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデート**。
3. **イメージストリーマーアプライアンスのアップデート** — HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーの両方が搭載されている場合は、同じアプライアンスメンテナンスウィンドウ中に両方をアップデートします。最初にコンポーザーをアップデートしてから、次にイメージストリーマーをアップデートします。
4. **管理対象ハードウェアのファームウェアのアップデート** — 論理エンクロージャーから開始される統合またはパラレルアップデート方法を使用します。共有インフラストラクチャとコンピュータモジュールを一緒にアップデートするか、個別にアップデートするかを選択できます。
5. **コンピュータモジュールのアップデート** — コンピュータモジュールのファームウェアとドライバーをベースライン SPP のバージョンにアップデートします。
6. アップデート後：
 - ・ ファームウェアインベントリを確認し、ファームウェアのバージョンが目的のバージョンと一致していることを確認します。
 - ・ テストワークロードを使用してアプリケーションレベルのテストを実行し、アプリケーションが希望する方法で実行されることを確認します。
 - ・ リソースで発生していた可能性があるすべての重大なアラートおよび警告を評価し、推奨される措置がないか確認してください。
7. ファームウェアコンプライアンスレポートを使用して、ファームウェアが準拠していることを確認します。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「ファームウェアバンドル」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「ファームウェアコンプライアンス」。

HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデート

HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデートファイルには、HPE Synergy コンポーザーと HPE OneView の両方のファームウェアアップデートが含まれています。[HPE OneView リリースノート \(HPE Synergy 用\)](#) を参照して、アップデートに必要な時間を確認してください。

前提条件

- ・ 権限：インフラストラクチャ管理者。
- ・ 次の HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイトから HPE OneView アップデートイメージ (.bin) ファイルをローカルコンピューターにダウンロードしていること。<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>。詳しくは、[ファームウェアとドライバーの取得およびファームウェアとソフトウェアのファイルの入手](#)を参照してください。
- ・ HPE OneView Update Readiness Checker を使用してコンポーザーの状態が評価済みであること。
- ・ アプライアンスをアップデートする前に、バックアップファイルを作成してダウンロードします。
- ・ HPE OneView 5.2 以前のリリースからアップデートする場合は、他のユーザーがアプライアンスにログインしていないことを確認し、アップデート中に誰もログインしないようにすること。
- ・ HPE OneView 5.3 以降のリリースからアップデートする場合は、アプライアンスにログインしているユーザーの管理操作を、監視、読み取り専用操作、および HPE OneView の処理が 1 分未満で完了するハードウェア管理操作に制限すること。

手順

1. 選択したチェックサムユーティリティと .md5 ファイルをダウンロードして、ダウンロードしたアップデートイメージファイルの整合性を確認します。
2. アプライアンスにログインします。
3. メインメニューから、**設定**を選択して、次のいずれかの操作を実行します。
 - ・ **アプライアンスパネルでアプライアンスのアップデート**をクリックします。
 - ・ **アプライアンス**をクリックして、**アクション > アプライアンスのアップデート**の順に選択します。
4. **アップデートイメージの選択**を選択して、次のいずれかを実行します。
 - ・ ローカルコンピューター上のフォルダーからイメージファイルをドラッグして、**アプライアンスのアップデート**画面のボックスにドロップします。この方法は、Microsoft Internet Explorer の旧バージョンではサポートされていません。
 - ・ **参照**をクリックし、ダウンロードしたイメージファイルを探して、選択します。
5. 以下のいずれかを選択します。
 - ・ **イメージファイルをアップロードし、プロンプトを待ってインストールします** - アップロードの完了後、すぐにアップデートを開始する場合に選択します。
 - ・ **後でインストールする場合はイメージファイルをバックグラウンドでアップロードします** - ファイルをアップロードして、後でアップデートを開始する場合に選択します。アップデートを実行する準備ができたなら、**アプライアンスのアップデート**画面に戻ります。アップロードされたイメージからのアップデートを選択して、アップデートを実行します。

イメージファイルが検証されます。ファイルがアプライアンスと互換性がない場合や、インストールできない場合、そのファイルはアプライアンスから削除されます。アップデートプロセスを再開する

には、HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) に戻り、HPE OneView アップデートイメージ (.bin) ファイルをダウンロードして、アップデート手順を開始します。

6. HPE OneView 5.2 以降のリリースからアップデートする場合は、**アップロード**をクリックします。HPE OneView 5.0 以前のリリースからアップデートする場合は、**アップロードおよびインストール**をクリックします。
7. **エンドユーザー使用許諾契約書、書面による申込み**をクリックして利用規約を確認します。**使用許諾契約を参照し、承諾しました。**を選択し、**アップデート**をクリックします。

注記: アップデート中にアプライアンスを手動で再起動したりシャットダウンしたりしないでください。アップデートの中断は回復不能で、アプライアンスデータをバックアップファイルからリストアしなければならなくなります。

8. オプション。HPE OneView 5.3 以降のリリースからアップデートする場合は、**詳細情報**をクリックして、HPE OneView アプライアンスのアップデートに関する留意事項を表示します。
9. はい、**アップデートします**をクリックして、アップデートプロセスを開始します。
10. アクティビティ画面または**設定 > アクティビティ画面**でアップデートの進捗状況を監視します。**アプライアンスのアップデートタスク**を見つけて、**展開アイコン**をクリックして詳細を確認します。

注記: アップデートプロセスが完了すると、高可用性がリストアされます。

11. メインメニューから、**設定 > アプライアンス**を選択し、ファームウェアのバージョンと日付を確認して、アップデートを確認します。
12. アップデート後、アプライアンスをバックアップします。

注記: アプライアンスをアップデートした後、バックアップを作成します。アプライアンスをリストアする必要がある場合は、同じバージョンのアプライアンスで作成されたバックアップからのみリストアできます。

クラスター化されたアプライアンスの留意事項を理解するには、**クラスター化されたコンポーザーアプライアンスのアップデートに関する留意事項**を参照してください。

詳細情報

- ・ [アプライアンスのバックアップ](#)
- ・ [Update Readiness Checker を使用したアプライアンスの動作状況の評価](#)
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスの手動バックアップ」および「自動リモートバックアップの構成」。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスのアップデート」。

クラスター化されたコンポーザーアプライアンスのアップデートに関する留意事項

HPE Synergy コンポーザー 5.2 以前のリリース

高可用性クラスターの HPE Synergy コンポーザーアプライアンスで、HPE OneView 5.2 以前のリリースからアップデートする場合は、以下の点に注意してください。

- ・ 高可用性クラスター内の両方のアプライアンスが新しいバージョンにアップデートされます。最初にアクティブアプライアンスがアップデートされ、次にスタンバイアプライアンスがアップデートされます。
- ・ アクティブな HPE Synergy コンポーザーのアップデート中は、管理機能を使用できません。
- ・ アクティブアプライアンスのアップデートが完了すると、スタンバイアプライアンスがアップデートされている間、アクティブアプライアンスを使用できます。ただし、高可用性構成は、スタンバイアプライアンスのアップデートが完了し、アプライアンスが同期化された後にのみリストアされます。スタンバイアプライアンスのアップデートステータスは、**アクティビティページにアプライアンスのアップデートタスク**として表示されます。
- ・ アクティブアプライアンスをアップデートできない場合は、高可用性クラスターはアップデート前のバージョンに戻ります。

アクティブアプライアンスのアップデート後にスタンバイアプライアンスをアップデートできない場合は、高可用性クラスターはリストアされません。この状態から回復するには、スタンバイアプライアンスを再イメージして、バージョンがアクティブアプライアンスに一致するようにします。アプライアンスを再イメージする方法については、**[HPE OneView ユーザーガイド \(HPE Synergy 用\)](#)**にある「プリロード済み USB ドライブを使用したアプライアンスの再イメージ」、または**[HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide for HPE Synergy Composer and HPE Synergy Image Streamer](#)**にある「Reimaging the appliance module with the preloaded USB drive」を参照してください。

再イメージされたスタンバイアプライアンスが再起動すると、高可用性クラスターがリストアされます。詳細については、**[HPE OneView ユーザーガイド \(HPE Synergy 用\)](#)**の「アプライアンスをリストアする」および「アプライアンスをリストアするためのベストプラクティス」を参照してください。

HPE Synergy コンポーザー 5.3 以降のリリース

高可用性クラスターの HPE Synergy コンポーザーアプライアンスで、HPE OneView 5.3 以降のリリースをアップデートする場合、以下の点に注意してください。

- ・ 最初にスタンバイアプライアンスがアップデートされ、次にアクティブアプライアンスがアップデートされます。スタンバイアプライアンスのアップデートが完了すると、フェイルオーバープロセスが行われ、アクティブアプライアンスがスタンバイアプライアンスへの自動フェイルオーバーを実行します。フェイルオーバープロセスが完了すると、新しいスタンバイ（以前のアクティブ）アプライアンスがアップデートされます。
- ・ スタンバイアプライアンスのアップデート中も、一般的な監視とハードウェア管理にはアクティブアプライアンスを使用できます。

△ 注意: フェイルオーバープロセス中は、管理機能を使用できません。フェイルオーバープロセスは完了までに約 30 分を要します。

- ❗ **重要:** アクティブアプライアンスは、アップデートが完了した後、アップデートされたスタンバイアプライアンスに自動的にフェイルオーバーし、その時点で進行中のタスクはすべて中断されます。Hewlett Packard Enterprise は、管理操作を監視、読み取り専用操作、および HPE OneView の処理が 1 分未満で完了するハードウェア管理操作に制限することをお勧めします。アプライアンスのアップデート中は、次のような操作を開始しないでください。

- ・ ハードウェアの追加または削除、ケーブル接続の変更など、物理的なハードウェア構成の変更。
- ・ ネットワーキング、セキュリティ、時間などのアプライアンス設定の変更。
- ・ 再起動、スタンバイの削除、シャットダウン、工場出荷時設定へのリセット、アップデート、サポートダンプの作成など、アプライアンスの状態を変更するアクション。これらの変更は障害の原因となり、正常なアップデートを妨げるエラーを引き起こす可能性があります。

- ・ アップデートとスタンバイアプライアンスへのフェイルオーバーが成功すると、アプライアンスの使用を再開できます。両方のアプライアンスのアップデートが完了すると、高可用性構成がリストアされます。
- ・ スタンバイアプライアンスをアップデートできない場合、高可用性クラスターはアップデート前のバージョンに戻ります。

アップデートされたスタンバイアプライアンスにフェイルオーバーした後に新しいスタンバイ（以前のアクティブ）アプライアンスをアップデートできない場合、高可用性クラスターはリストアされません。この状態から回復するには、スタンバイアプライアンスを再イメージして、バージョンがアクティブアプライアンスに一致するようにします。アプライアンスを再イメージする方法については、**HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)**にある「プリロード済み USB ドライブを使用したアプライアンスの再イメージ」、または **HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide for HPE Synergy Composer and HPE Synergy Image Streamer**にある「Reimaging the appliance module with the preloaded USB drive」を参照してください。

再イメージされたスタンバイアプライアンスが再起動すると、高可用性クラスターがリストアされません。詳細については、**HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)**の「アプライアンスをリストアする」および「アプライアンスをリストアするためのベストプラクティス」を参照してください。

イメージストリーマーアプライアンスのアップデート

アップデートに必要な時間を確認するには、**HPE Synergy イメージストリーマーリリースノート**を参照してください。

前提条件

- ・ 権限：インフラストラクチャ管理者。
- ・ アップグレード後の HPE Synergy イメージストリーマーアプライアンスのバージョンが、使用している HPE Synergy コンポーザーのバージョンと互換性があることを確認していること。イメージストリーマーアプライアンスとコンポーザー間のバージョンの互換性については、HPE Synergy ソフトウェアリリース Web サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) および **HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス**を参照してください。
- ・ 展開するオペレーティングシステムがサポートされることを確認していること。オペレーティングシステムの互換性については、**HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス**を参照してください。
- ・ <https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information> でイメージストリーマーに適したソフトウェアリリースからアップデート (.bin) ファイルをローカルコンピューターにダウンロードしていること。

- ・ オペレーティングシステムに展開される Hewlett Packard Enterprise が提供するアーティファクトバンドルをダウンロードしていること。詳細については、[HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ](#)にある「GitHub からのアーティファクトのダウンロード」を参照してください。
- ・ アップデートを実行するアプライアンスをバックアップしていること。
- ・ 管理クラスターとストレージクラスターのステータスが **OK** であることを確認していること。確認するには、**展開アプライアンス**画面のストレージセクションに移動します。

注記: 数分後、**同期中または再ストライプ化中状態**の OS ボリュームが **OK** に変化します。

イメージストリーマーには、アップグレード前の段階でアップグレードに関連する問題のほとんどを特定するアップグレード前ヘルスチェックがあります。アップデートを開始する前に、アプライアンスはアップデートの正常な完了を妨げる可能性がある問題を確認します。すべてのヘルスチェックがクリアされた後でのみ、アップグレードできます。

手順

1. メインメニューから、**アプライアンス > OS 展開サーバー**を選択します。
2. **全般**セクションで、**イメージストリーマー UI** フィールド内のリンクをクリックして、イメージストリーマーに接続します。
3. イメージストリーマーで、メインメニューから**展開アプライアンス**を選択します。
4. マスターペインで、アップデートするアプライアンスを選択します。
5. **アクション > アプライアンスのアップデート**を選択します。
6. ダウンロードしたイメージファイルをアプライアンスの UI 画面にドラッグアンドドロップするか、ブラウザすることによって、この UI 画面からイメージファイルを利用できるようにします。
7. **アップロードおよびインストール**をクリックします。

❗ **重要:** アプライアンスのプラットフォームに適切なイメージファイルを選択します。

クラスター化されたアプライアンスのアップデートプロセスを理解するには、[クラスター化されたイメージストリーマーアプライアンスのアップデートに関する留意事項](#)を参照してください。

対応する展開アプライアンス画面でプライマリおよびセカンダリ展開アプライアンスのアップデート処理を監視できます。

さまざまなアップデートシナリオとアップデートの失敗の原因について詳しくは、[HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)を参照してください。

詳細情報

- ・ [イメージストリーマーのバックアップ](#)
- ・ [HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)

クラスター化されたイメージストリーマーアプライアンスのアップデートに関する留意事項

高可用性クラスター内の両方のアプライアンスが新しいバージョンにアップデートされます。最初にアクティブアプライアンスがアップデートされ、次にスタンバイアプライアンスがアップデートされます。

- ・ アクティブな HPE Synergy イメージストリーマーのアップデート中は、管理機能を使用できません。
- ・ スタンバイアプライアンスがアップデートされている間、アクティブアプライアンスを使用できます。ただし、高可用性構成は、スタンバイアプライアンスのアップデートが完了し、アプライアンスが同期化された後にのみリストアされます。
- ・ アクティブアプライアンスをアップデートできない場合は、高可用性クラスターはアップデート前のバージョンに戻ります。
- ・ アクティブアプライアンスがアップデートされ、スタンバイアプライアンスがアップデートできない場合。
 - スタンバイアプライアンスは、アップデート前のバージョンに戻ります。
 - 高可用性クラスターは、リストアされません。この状態から回復するには、スタンバイアプライアンスを再イメージして、バージョンがアクティブアプライアンスに一致するようにします。再イメージされたスタンバイアプライアンスが再起動すると、高可用性クラスターがリストアされません。詳しくは、[HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)にある「アプライアンスを再イメージするための USB フラッシュドライブの作成」を参照してください。
- ・ アプライアンスが以前のバージョンに自動的に復元しない場合、リストアするには、[HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)の「バックアップ、リストア、およびリカバリ」を参照してください。

注記: アップグレード関連の問題に対処するには、[サポートスペシャリスト](#)にお問い合わせください。

シングルフレーム構成のイメージストリーマーのアップデート

Hewlett Packard Enterprise は、本番環境の最小要件として 3 フレーム構成を推奨しています。1 つのイメージストリーマーアプライアンスを使用する特別なシングルフレーム構成を開発またはテスト環境で使用できます。ただし、シングルフレーム構成のイメージストリーマーアプライアンスのアップデートはサポートされません。したがって、新しいバージョンにアプライアンスを再イメージする必要があります。

- ❗ **重要:** この手順によって、少なくとも 6~7 時間のダウンタイムが発生し、既存のすべての構成も失われます。

前提条件

HPE Synergy イメージストリーマーがテストまたはアーティファクトの開発目的でシングルフレームセットに構成されている。

手順

1. イメージストリーマーメインメニューから、**展開グループ > アクション > バックアップバンドルの作成**を選択して、すべてのイメージストリーマーアーティファクトをバックアップします。
2. **展開グループ > アクション > バックアップバンドルのダウンロード**を選択して、バックアップバンドルをローカルマシンにダウンロードします。これは、あとからアーティファクトをリストアするために使用できます。
3. HPE OneView メインメニューから、**サーバー > サーバープロファイル > アクション > 編集**を選択するか、**サーバー > サーバープロファイルテンプレート > アクション > 編集**を選択します。

- a. 展開プランセクションでなしを選択します。
- b. 関連付けられている展開ネットワーク iSCSI ブート接続を削除します。
- c. ブート設定のブート順序の管理の選択を解除し、OK をクリックします。

注記: 関連付けられている削除済み OS ボリュームに関する警告が表示されます。OK をクリックして次に進みます。

4. 論理エンクロージャーからイメージストリーマー OS 展開設定を削除します。
 - a. サーバー > エンクロージャーグループ > アクション > 編集を選択します。展開ネットワークタイプをなしに設定し、論理エンクロージャーから論理インターコネクトグループを削除します。
 - b. ネットワーク > 論理インターコネクトグループ > アクション > 編集を選択します。イメージストリーマーアップリンクセットを削除します。
 - c. サーバー > エンクロージャーグループ > アクション > 編集を選択します。先に削除した論理インターコネクトグループを追加します。
 - d. サーバー > 論理エンクロージャー > アクション > グループからのアップデートを選択します。

注記: グループからのアップデート操作が完了するのを待ってから、次の手順に進みます。

5. アプライアンス > OS 展開サーバー > アクション > 削除を選択します。
6. 必要なイメージストリーマーバージョンをサポートするバージョンに HPE OneView をアップデートします。

HPE OneView を新しいバージョンにアップデートする方法については、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)を参照してください。
7. 必要なバージョンを使用してイメージストリーマーを再イメージします。

イメージストリーマーを再イメージする方法については、[HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド](#)を参照してください。

❗ **重要:** 新しいイメージストリーマーのバージョンは、アップデートされた HPE OneView のバージョンと互換性がある必要があります。

8. イメージストリーマーでは、再イメージ後、イメージストリーマーアプライアンスを取り外して、取り付け直します。このアクションによって、HPE OneView はイメージストリーマーアプライアンスを検出し、新たに獲得します。
9. HPE OneView メインメニューから、アプライアンス > OS 展開サーバー > OS 展開サーバーの追加 + をクリックします。HPE OneView がイメージストリーマーアプライアンスを検出し、獲得したら、OS 展開サーバーを作成します。
10. 論理エンクロージャーのイメージストリーマー OS 展開設定の構成
 - a. サーバー > エンクロージャーグループ > アクション > 編集を選択します。論理エンクロージャーから論理インターコネクトグループを削除します。
 - b. ネットワーク > 論理インターコネクトグループ > アクション > 編集を選択します。イメージストリーマーアップリンクセットを作成します。

- c. サーバー > エンクロージャーグループ > アクション > 編集を選択します。展開ネットワークタイプを外部に設定し、展開ネットワークを展開のために作成したネットワークに設定し、先に削除した論理インターコネクトグループを追加します。
 - d. サーバー > 論理エンクロージャー > アクション > グループからのアップデートを選択します。
11. イメージストリーマーメインメニューから、展開グループ > アクション > バックアップバンドルからのリストアを選択して、ダウンロードしたバックアップバンドルをリストアします。
 12. HPE OneView メインメニューから、サーバー > サーバープロファイル > アクション > 編集を選択してサーバープロファイルを編集するか、サーバー > サーバープロファイルテンプレート > アクション > 編集を選択して、OS 展開プランを使用するサーバープロファイルテンプレートを編集します。
 - a. OS 展開セクションで OS 展開プランを選択します。
iSCSI ブート接続が自動的に作成されます。
 - b. OK をクリックします。

管理対象ハードウェアのファームウェアのアップデート

Hewlett Packard Enterprise では、論理エンクロージャーからアップデートプロセスを開始することによって、共有インフラストラクチャとコンピュートモジュールをアップデートすることをお勧めします。論理エンクロージャーからは、HPE Synergy フレームリンクモジュール、インターコネクトモジュール、ドライブエンクロージャー、およびコンピュートモジュールをアップデートできます。

共有インフラストラクチャとコンピュートモジュールの両方をアップデートするには、論理エンクロージャーのファームウェアのアップデートページにあるファームウェアアップデートオプションとして共有インフラストラクチャとプロファイルを選択します。インターコネクトの非中断ファームウェアアップデートの場合は、インターコネクトのアクティベーションのファームウェアアクティブ化のタイプとして統合を選択します。

共有インフラストラクチャのアップデート

共有インフラストラクチャの 1 つ以上のコンポーネント（フレーム内のすべてのコンピュートモジュールに共通するフレームリンクモジュール、インターコネクトモジュール、およびドライブエンクロージャー）を選択してアップデートできます。

一部のファームウェアのアップデートは、統合アクティブ化方法をサポートしていません。**HPE Virtual Connect SE Module for HPE Synergy Release Notes** の「More firmware update information」のセクションを参照して、アップデートが非中断の統合アクティブ化方法をサポートしているかどうかを確認してください。また、論理エンクロージャー画面で、警告と、統合アクティブ化方法を選択したときに表示される解決策を確認します。

- ・ **論理エンクロージャーからの共有インフラストラクチャのみのアップデート**：論理エンクロージャー内で構成されている共有インフラストラクチャコンポーネントのみをアップデートするには、論理エンクロージャーのファームウェアアップデートオプションを構成するときに、共有インフラストラクチャオプションを選択します。
- ・ **論理エンクロージャーからの HPE Synergy フレームリンクモジュールのみのアップデート**：論理エンクロージャーから HPE Synergy フレームリンクモジュールのみをアップデートするには、論理エンクロージャーのファームウェアアップデートオプションとしてフレームリンクモジュールのみを選択します。詳細については、**HPE Synergy コンポーザーの高可用性構成**を参照してください。
- ・ **論理インターコネクトからのインターコネクトのみのアップデート**：ソフトウェアリリースからのファームウェアを論理インターコネクトに適用し、関連するすべてのインターコネクトでファーム

ウェアベースラインが同じになるようにすることもできます。この操作では、異なるファームウェアバージョンを実行しているメンバーインターコネクットのファームウェアだけをアップデートします。

詳細情報

[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート」および「エンクロージャーの論理インターコネクットのファームウェアのアップデート」。

コンピュータモジュールのアップデート

コンピュータモジュールのファームウェアのアップデート

- ・ **論理エンクロージャーによる：**
 - サーバープロファイルが割り当てられている場合は、論理エンクロージャーのファームウェアアップデートではサーバープロファイルのインストール方法を使用します。
 - サーバープロファイルが割り当てられていない場合は、論理エンクロージャーのファームウェアアップデートではオフライン（ファームウェアのみ）を使用して、コンピュータモジュールをアップデートします。
 - 統合インターコネクットのアクティブ化方法を選択してアップデートを実行すると、ハイパーバイザークラスタープロファイルの一部であるサーバープロファイルに対してハイパーバイザークラスターのローリングアップデートが実行されます。
- ・ **サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートによる：**

特定のコンピュータモジュールのファームウェアを、そのサーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートを使用してアップデートできます。

 - 特定のコンピュータモジュールのファームウェアをアップデートするには、既存のサーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートを編集します。関連付けられているサーバープロファイルがないサーバーハードウェアでは、サーバープロファイルを作成してファームウェアをアップデートできます。
 - SUT の使用を選択した場合は、推奨される SUT モード表の推奨に従って、SUT モードを設定します。SUT に関するすべての構成は、ホストサーバー上でコマンドラインから行われます。
 - 関連付けられているハイパーバイザープロファイルを持つ特定のコンピュータモジュールの完全な非中断アップデートでは、ハイパーバイザークラスタープロファイルのローリングアップデートを使用します。
- ・ **HPE Synergy イメージストリーマーを使用したサーバープロファイルによる：**

展開プランとゴールデンイメージを作成して、既存の OS ボリュームからのドライバーを含むコンピュータモジュールをアップデートします。

 1. 新しくアップデートしたゴールデンイメージを作成するオペレーティングシステムの代表的な既存のインスタンスを選択します。
 2. サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートによるセクションでリストされているオプションのいずれかを使用して、ファームウェアとドライバーをアップデートします。
 3. 既存の OS ボリュームをアップデートします。
 4. 元のゴールデンイメージを使用する 1 つまたは複数の展開プランをコピーし、新規またはアップデートされるゴールデンイメージを指定します。

5. コピーされた展開プランを使用するには、サーバープロファイルを編集して、コピーされた展開プランを選択します。
6. サーバープロファイル/サーバープロファイルテンプレートのファームウェアアップデートモードが**手動で管理**または**ファームウェアのみ**に設定されていることを確認します。

または、未割り当てのコンピュータモジュールがある場合は、新しいゴールデンイメージを展開して、コンピュータモジュールのドライバーをアップデートし、新しいゴールデンイメージをキャプチャーできます。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)
- ・ [HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ](#)
- ・ [Smart Update Tools for VMware ESXi User Guide](#)

ハングしたファームウェアアップデートタスクのキャンセル

- ❗ **重要:** タスクをキャンセルすると、システム運用に支障をきたします。タスクをキャンセルするのは、状況に対処するために他の方法を試してもうまくいかなかった場合だけにしてください。

アクティビティ画面の**タスクのキャンセル**オプションを使用すると、応答していない状態にあるファームウェアアップデートを停止できます。**タスクのキャンセル**オプションは、以下のシナリオのタスクでのみ使用できます。

- ・ **ファームウェアのみ**オプションを使用して、サーバープロファイルでファームウェアをアップデートするとき。
サーバープロファイルファームウェアのアップデートタスクをキャンセルしたとき、クラスタープロファイルタスクが**エラー**状態になった場合。
- ・ ファームウェアアップデート操作がすでに始まっているとき。
- ・ 論理エンクロージャーから開始されたサーバーハードウェアのファームウェアアップデートに異常に長い時間がかかる場合。論理エンクロージャーファームウェアのアップデートでは、複数の子サーバーファームウェアのアップデートタスクが実行されています。**タスクのキャンセル**オプションは、サーバーファームウェアアップデートタスクごとに指定できます。

タスクのキャンセルオプションは、タスクがハングアップしたと思われる、進行状況バーに進行状況が表示されなくなったときにのみ、例外として使用してください。タスクは**キャンセル**状態になります。

詳細情報

[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「ハングしたファームウェアアップデートタスクのキャンセルについて」](#)

HPE Synergy のドキュメントリソース

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

ドキュメント:

以下を提供:

HPE Synergy ソリューション

はじめに	ハードウェアのインストールから HPE OneView の構成まで、HPE Synergy ソリューションの初回セットアップ手順。
リリースノート	HPE Synergy、HPE Synergy イメージストリーマー、HPE OneView などの製品のリリースの説明、新機能、ドキュメントのアップデート、問題と推奨処置。
移行ガイド	HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy コンポーザー 2 への移行、および HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュールへの移行に関する情報。
HPE Synergy アプライアンスのファームウェアの確認 : HPE Synergy アプライアンスの初期セットアップの準備	システムでの初期使用のために HPE Synergy アプライアンスを準備する手順。
Appliances User Guide	アプライアンスのモジュール管理、構成、およびセキュリティの概要。
ケーブル接続ガイド	管理ネットワーク、HPE Synergy イメージストリーマー、インターコネクト、および電源のケーブル接続例。
構成および互換性ガイド	HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャー、詳細なハードウェアコンポーネントの識別、およびハードウェアコンポーネントの構成要件の概要。
フレームリンクモジュールユーザーガイド	HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュール、HPE Synergy フレームリンクモジュール、および HPE Synergy 管理コンソールの管理、構成、およびセキュリティに関する情報。
Power Management Overview Guide	HPE Synergy が HPE Synergy 12000 フレームの電力使用量を管理する方法に関する追加の詳細情報。
メンテナンス&サービスガイド	『メンテナンス&サービスガイド』には、HPE Synergy 製品のスペアパーツリストと交換手順が記載されています。これらの製品には、アプライアンスモジュール、コンピュートモジュール、ストレージモジュール、インターコネクトモジュール、および HPE Synergy 12000 フレームが含まれます。
トラブルシューティングガイド	一般的な問題を解決するための情報、および障害の分離と特定、問題の解決、およびメンテナンスのための一連のアクション。
エラーメッセージガイド	特定のエラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
ドキュメントマップ	必要な HPE Synergy ドキュメントをフィルタリングして見つけるための説明マップ。

表は続く

ドキュメント:	以下を提供:
用語集	製品の理解と、HPE Synergy エコシステムの習熟に役立つ用語、説明、および図面。
HPE Synergy イメージストリーマ	
展開ワークフロー	OS 展開用の HPE Synergy イメージストリーマのセットアップに関連するさまざまな手順のインタラクティブな説明、および手順の詳細な指示を含むさまざまなドキュメントへの参照。
サポートマトリックス	HPE Synergy イメージストリーマに関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイド	HPE Synergy イメージストリーマを使用した OS 展開プロセス、HPE Synergy イメージストリーマの機能、および HPE Synergy イメージストリーマアーティファクトの目的とライフサイクル。また、HPE Synergy イメージストリーマの認証、権限付与、およびトラブルシューティングに関する情報も含まれます。
GitHub	サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれるレポジトリ (github.com/HewlettPackard)。また、HPE Synergy イメージストリーマを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。
ヘルプ	HPE Synergy イメージストリーマの基本的な概念とユーザーインターフェイススペースのタスクに関する情報。
HPE OneView (HPE Synergy 用)	
サポートマトリックス (HPE Synergy 用)	HPE OneView に関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイドおよびヘルプ (HPE Synergy 用)	リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報。
Global Dashboard のユーザーガイドおよびヘルプ	HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについての説明。
HPE Synergy のトラブルシューティングガイド	HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順。
エラーメッセージガイド	特定の HPE OneView エラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
トラブルシューティングの資料	ツール、オンラインヘルプ、トラブルシューティングガイド内のトラブルシューティング画面。

HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース

HPE OneView (HPE Synergy 用) : 以下を提供 :

ファームウェアおよびドライバーのアップデートガイド
 ファームウェアおよびドライバーをアップデートするための推奨のベストプラクティスに関する情報。



HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ファームウェアアップデート情報のインタラクティブリソースを提供します。HPE Synergy ファームウェアアップデートリソースは、HPE OneView 内でも利用できます。

図 1: HPE Synergy ソフトウェアリリース情報

HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト： 以下を提供：

Overview	ダウンロードページおよび関連する Synergy カスタム SPP へのリンクが記載された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせのリスト。
What's new	HPE Synergy リリースの新機能のリスト。
Firmware Comparison Tool	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用する HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせリスト。このツールは、以前の管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるカスタム SPP を確認する場合にも役立ちます。
Firmware Feature Table	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用するファームウェア機能のリスト。
Upgrade Paths Table	HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
VMware OS Support	VMware vSphere OS を HPE Synergy カスタム SPP で使用するための情報と要件。

表は続く



HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト 以下を提供 :

Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases	過去の HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
Identifying Upgrade Paths	アップグレードパス表の使用方法に関する情報。
HPE Synergy Resources	HPE Synergy の主要なリソースのリスト。
Hewlett Packard Enterprise Information Library	すべての HPE Synergy 製品ドキュメントのソリューションレベルライブラリ。



HPE Synergy ドキュメントの概要（ドキュメントマップ）

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

さらに、HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ソフトウェアリリース情報のインタラクティブリソースを提供します。

ソフトウェアリリース情報	管理
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy Software releases - Overview・ HPE Synergy Software releases - What's new・ HPE Synergy Firmware Comparison Tool・ HPE Firmware Feature Comparison Table・ HPE Synergy Upgrade Paths・ VMware OS Support Tool for HPE Synergy・ Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases・ Identifying Upgrade Paths・ HPE Synergy Resources	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView ユーザーガイド（HPE Synergy 用）・ HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ・ HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス・ HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー・ HPE Synergy フレームリンクモジュールユーザーガイド
プランニング	監視
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy 移行ガイド・ HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide・ HPE Synergy 構成および互換性ガイド・ HPE OneView（HPE Synergy 用）サポートマトリックス・ HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス・ Setup Overview for HPE Synergy・ HPE Synergy Software Overview Guide	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView ユーザーガイド（HPE Synergy 用）・ HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド

表は続く



ハードウェアの取り付け

- ・ HPE Synergy はじめに（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド
- ・ HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 Frame Rack Template（フレームに付属）
- ・ フードラベル
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ケーブル接続ガイド
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用 — ハードウェアセットアップ

メンテナンス

- ・ Product maintenance and service guides
- ・ HPE OneView for HPE Synergy Firmware and Driver Update Guide
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView ユーザーガイド（HPE Synergy 用）
- ・ HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide

管理および監視の構成

- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView ユーザーガイド（HPE Synergy 用）
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト

トラブルシューティング

- ・ HPE OneView アラートの詳細
- ・ HPE Synergy トラブルシューティングガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 および HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ HPE Synergy の HPE OneView トラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView エラーメッセージガイド
- ・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス



Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>

Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。サポート技術者はログを直接ダウンロードし、FTP サイトを使用する必要はありません。サポート技術者が問題を診断する間、現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。

詳細情報

HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「HPE OneView アプライアンスへのリモートアクセスサービスの構成」。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

